

小学生(中学年)向け



『いろいろのかげらのしま』

イ・ミョンエ／作・絵 生田美保／訳
ポプラ社 ¥1,400(税別)

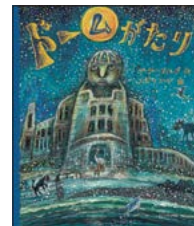
海鳥が住む島は、流れ着いた色とりどりのゴミでできている。気づかないうちにプラスチックを食べ死んでしまうものたちもいる。友だちの動物の身に起こっている出来事を、海鳥の目線で語る。環境問題を考えるきっかけになる作品。



『つくえの下のおい国』

石井睦美／著 にしざかひろみ／絵
講談社 ¥1,400(税別)

マナとリオの姉妹は、祖父の書斎の机の下で遊ぶのが好き。ある時、机の下から「トホウ・モナイ国」へ来てしまう。そこで出会ったモモンゴたちは、2人にもやを消し元の国を取り戻してほしいという…。不思議な体験をするファンタジー童話。



『ドームがたり』

アーサー・ピナード／作 スズキ・コージ／画
玉川大学出版部 ¥1,600(税別)

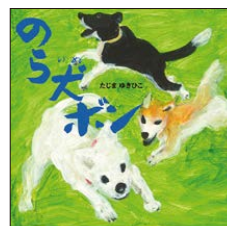
かつて「広島県物産陳列館」として誕生した原爆ドーム。原子爆弾により煉瓦の建物は破壊されてしまう。原爆ドームの視点で語られる、戦争の記憶と未来への警告が、原子爆弾、原発とは何なのか?という問いを投げかける。



『ネコの家庭教師』

南部和也／さく さとうあや／え
福音館書店 ¥1,700(税別)

市場生まれの野良猫ベスは、迷い込んだ宮殿の森で女王陛下の孫、トリア姫と出会う。ベスを気に入った姫は、どうにかして飼いたいと考え、ベスを家庭教師としてそばに置くことにする。ベスとトリア姫の関係に心が温まる物語。



『のら犬ボン』

たじまゆきひこ／作
くもん出版 ¥1,600(税別)

としおは野良犬を拾い、ボンと名づけて飼っていた。しかし、転勤で東京に引越すことになった父は、としおに嘘をつきボンを島へ捨てた。取り残され、再び野良犬となったボンの運命は…。人と動物との関わり方を問う感動の物語。



『文様えほん』

谷山彩子／作
あすなろ書房 ¥1,400(税別)

文様をたどると、国々の交流や当時の人々の暮らしが見えてくる。日本の文様はデザイン性に富んでいて美しく、四季を大事にしてきたことがわかる。文様は歴史や人々の感性をも映し出す。自分の周りにある文様を探してみよう。



『ようこそ!花のレストラン』

多田多恵子／著
少年写真新聞社 ¥1,500(税別)

きれいな花は、虫にとって「花粉」と「みつ」を提供する高級レストラン。ヘリポートが付いているアスレチックのようなレストラン、わなのあるレストランなど、たくさん写真で解説する。植物観察をより一層楽しむことができる写真絵本。



『わたしも水着をきてみたい』

オーサ・スルク／作 ヒッテ・スパー／画 きたたいえりこ／訳
さ・え・ら書房 ¥1,200(税別)

ファドマはイスラム教徒の女の子で、スウェーデンに引っ越してきた。ファドマの国では男の子と女の子が一緒に泳ぐことは考えられず、プールの授業は見学ばかり。でも、クラスメートを見ているうちに自分も水着を着て、泳ぎたくなって…。

その他のおすすめの本

●『アルバートさんと赤ちゃんアザラシ』

ジュディス・カー／作・絵 三原泉／訳 徳間書店 ¥1,400(税別)

●『生きる』

谷川俊太郎／詩 岡本よしろ／絵 福音館書店 ¥1,300(税別)

●『キワさんのたまご』

宇佐美牧子／作 藤原ヒロコ／絵 ポプラ社 ¥1,200(税別)

●『ケータイくんとフジワラさん』

市川宣子／作 みずうちさとみ／絵 小学館 ¥1,250(税別)

●『詩ってなあに?』

ミーシャ・アーチャー／作 石津ちひろ／訳 BL出版 ¥1,500(税別)

●『ジャンケンの神さま』

くすのきしげのり／作 岡田よしとか／絵 小学館 ¥1,400(税別)

●『小学校がなくなる!』

麻生かつこ／作 大庭賢哉／画 文研出版 ¥1,200(税別)

●『世界を救うパンの缶詰』

菅聖子／文 やましたこうへい／絵 ほるぷ出版 ¥1,400(税別)

●『空をけっとばせ』

升井純子／作 大島妙子／絵 講談社 ¥1,200(税別)

●『チャールズ・ダーウィン、世界をめぐる』

ジェニファー・サームズ／作 まつむらゆりこ／訳 廣済堂あかつき ¥1,800(税別)

●『拝啓、お母さん』

佐和みずえ／作 かんべあやこ／絵 フレーベル館 ¥1,300(税別)

●『はじめてのなぜなにふしぎえほん』

てづかあけみ／え・ぶん パイインターナショナル ¥1,800(税別)